

## 共育だより

— “なぜそうするのか”を考えながら、ひとつ一つ丁寧に —

令和5年5月2日 No.1 第一幼稚園・クロワッサン保育園

令和5年度の開始から早1か月あまり。新入園のこどもたちは、初めての環境に慣れようと一日一日を精一杯過ごす姿が見られます。一方、進級児さんは、以前かかわっていたお友だちと好きな遊びを楽しみながら、新たなつながりが始まっています。とりわけ年長児に関しては、毎年恒例の「新入児さんのお世話」に加えて、園内の清掃等にも積極的に取り組み、気持ちの良い生活環境作りに動んでいます。それぞれの表情からは、誰かの役に立っていることで満足感が感じられます。進級児、新入児とも、今後は、初夏の陽気や園生活の疲れ等から心身ともに不安定になることも予想されますが、私たちはこれまで通り、“慌てず・焦らず・一步一步”過ごしてまいりたいと思っています。保護者の皆様も引き続きお子様の安全管理にご配慮いただきますとともに、明るい笑顔で「いってらっしゃい」と声を掛けていただき、帰園後は、「頑張ったね」の気持ちを込めてぎゅっと抱きしめてあげてほしいと思います。

本園では、パートナーである保護者の皆様に、園での取り組みを“なぜそうするのか”を含めて、具体的に分かりやすくお伝えしています。その一環として発行している「共育だより」では、『しせい教育』の下、私たちが日ごろから最優先と位置付けている「自分の命は自分で守る(安全)」や「基本的生活習慣の獲得」に向けて大切にしている「基礎・基本の徹底」についての考えを記載しています。ぜひ、お子様とご確認いただき、ご家庭でもできることから取り組んでいただけますと幸いです。

こどもたちがどのような環境(場所・周囲の人等)に身を置こうとも、応用の効く基礎力を身につけてほしい、そのために“今できること”をともに考え実践してまいりましょう。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### ともに成長しましょう <異年齢交流>

朝の登園時、年長組のこどもたちは、新入児のお友だちを笑顔で出迎え、靴の履き替え(外靴⇒上靴)を見守り、必要に応じて手を貸したり、生活のスペースに連れて行ってくれたりと自分にできることを考えて行動しています。「わたしこちをみてるから、そこはおねがい…」といったこども同士の役割分担の会話も聞かれ、頼もしさを感じる今日この頃です。そのお陰で新入児さんも安心して一日をスタートすることができています。これは、年長組のこどもたちにとっても自分が役に立っていることを実感でき、自己肯定感に繋がっているようです。こうした互恵性のある異年齢活動を、これからも見守っていきたいと思っています。



年長組が作っていた山を、0.1歳さんが崩そうとしています。でも、みんな温かく見守っていましたよ。“またつくればいいね”の気持ちなのでしょう。



ぞうきんは、左右の手をぎゅっとねじって…よく絞れています。



“一緒に行こうね”の温かい眼差しが、新入児さんの心に安心感を抱かせます。  
“おにいさん、おねえさんありがとう”



### 国際バカロレア(IB)について

令和5年1月、本園が国際バカロレア(IB)初等教育プログラム(PYP)の候補校になりました。このことに関しては、令和5年2月に本園ホームページ等でお知らせした通りです。

私たちは現在、こどもたちにとってより良い環境作りのため、職員で楽しく研修を受けているところです。詳細は、改めてお知らせいたします。

